

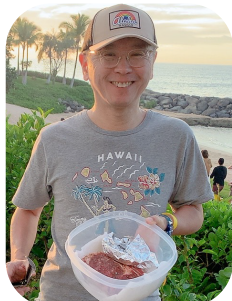


九段下通信

No.9

2026年9月号

自己紹介



株式会社MIRABELL 代表取締役 小川 勝

昭和40年5月20日生まれ
品川区生まれ、品川区育ち

9月に入りましたが、まだまだ厳しい残暑が続いております。
皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか。
九段下も日中はまだ夏のような暑さですが、朝晩には少しずつ季節の変化を感じる頃となりました。
そろそろ秋の涼しい風が恋しくなってきました。

トピックス

さて、今回は「わんこ」のお話です。
わが家には4年前まで、ジャックラッセルテリアの女の子がいました。
13歳6か月まで一緒に暮らし、家族の一員として本当にたくさんの思い出を残してくれました。
犬を飼ったことのある方ならお分かりいただけると思いますが、毎日一緒にいると「ペット」というより、
すっかり家族の一員になりますね。

虹を渡ってから4年。
「また犬と暮らしたい」という気持ちはずっとあり、家族とも「次もジャックラッセルがいいね」と話しています。
最近では、保護犬や譲渡犬についても調べるようになりました。
今の時代はインターネットやSNSで、新しい家族を探している犬たちの写真や動画、
その子がどんな環境で暮らしてきたのかなど、さまざまな情報を知ることができます。

そうした情報を見ているうちに、
「次に迎えるなら、子犬ではなく保護犬や譲渡犬という選択肢もあるのではないか」
と考えるようになりました。

そして先日、実際に5歳のジャックラッセルの女の子に会いに行ってきました。
それまで繁殖犬として過ごしてきた子でした。
会ってみると、「この子を家族に迎えたい」という気持ちが湧く一方で、いろいろと考えてしまいます。
成犬を新しい家庭に迎える難しさもありますし、何より最後まで責任を持てるのかということです。

私も昨年、還暦を迎えました。
「自分が元気に犬を育てられるのは、あと何年だろう」
子犬から十数年一緒に暮らすことを考えると、5歳くらいの成犬を迎えることも、
今の自分には一つの選択肢なのかなと思っています。

「また犬と暮らしたい」という気持ちと、
「本当に最後まで責任を持てるだろうか」という気持ち。

今は、その間で迷っています。
まだ結論は出ていませんが、こうして迷いながら考える時間も大切なかもしれません。
いつの日か九段下通信で、「新しい家族が増えました！」
とご報告できたらいいですね。
9月とはいえ、まだ暑い日が続きます。
季節の変わり目ですので、どうぞ皆さまもお身体を大切にお過ごしください。
九段下の街で、今後も皆さまと温かいご縁が続きますように。



不動産のお困りごと・ご相談などいつでもご連絡ください！

株式会社MIRABELL

TEL：03-3261-5815

携帯電話：080-6794-3089

東京都知事(3)第94557号

発行責任者：小川 勝

MAIL：ogawa@mirabell.co.jp <https://chiyodaku-mansion.net/>

※不要な方は「もう結構ですよ。」とお気軽にご連絡ください！



千代田区九段北1丁目2-12 九段下プラレールビル 4F